

広報

うわじまちくしょうぼう

第94号

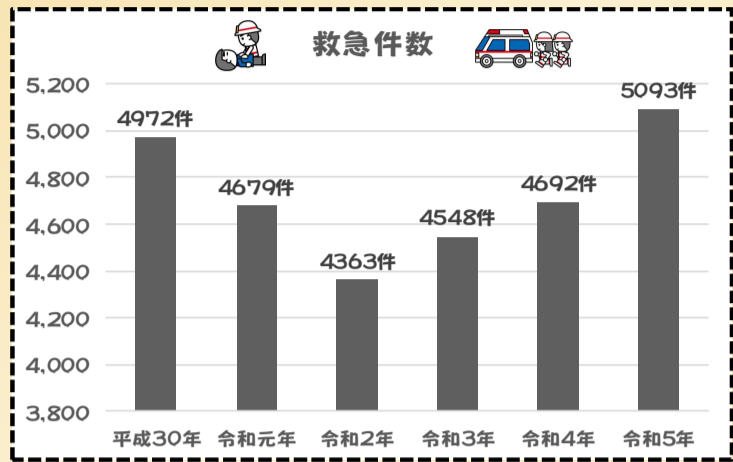
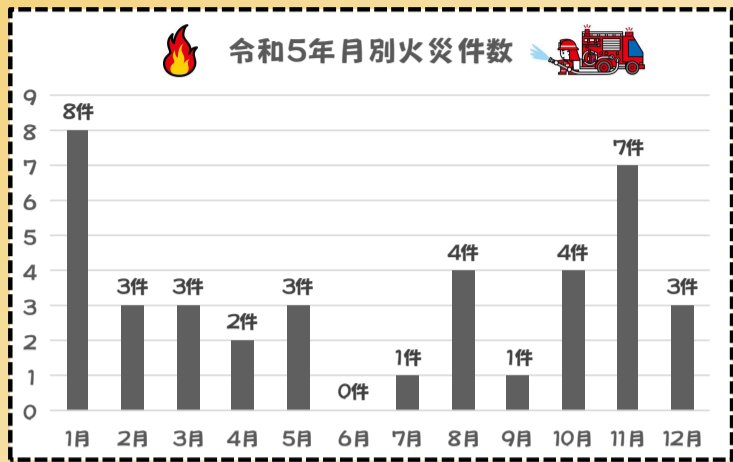
宇和島地区消防本部
宇和島地区防火協会
<http://www.119.uwajima.nanpu.or.jp/>



令和5年火災・救急件数について

火災39件

救急5,093件



令和5年中に発生した火災は39件となっていて、前年の45件より6件減少し、月平均出火件数は3.25件となっています。

出火原因では、39件中、たき火が15件と突出して多くなっています。空気が乾燥する時期が続きますので火気の取扱いには十分注意してください。

令和5年中の出発件数は5,093件(前年比401件増)、搬送人員は4,607人(前年比317人増)となっていて、出発件数及び搬送人員は、前年と比べて大きく増加しました。

緊急性の高い傷病者にはできるだけ早く救急車が到着できるよう、救急車の適正利用にご協力ください。

今年度は県内でも大規模な山火が発生しました。例年、春先には山火が多く発生しています。雨が少なく、空気が乾燥し、強風が吹く気象条件に加え、山では枯れ葉や枯れ草が多くなっていることや、山菜採りなどで増える入山者のたき火等により、山火発生危険性の高い時期となります。

特に、空気が乾燥している日や風が強い日は、たき火や野焼きをしないなど、火の取り扱いには十分注意してください。

山火は一旦発生するとその消火は容易では無く、一瞬にして貴重な森林を焼失するとともに、その回復には長い年月と多くの労力を要することから、予防対策が重要となります。

「火の確認 山を愛する あなたのマナー」



2023年度全国統一防火標語

火を消して 不安を消して つなぐ未来

令和6年春季全国火災予防運動

設置義務です
住宅用火災警報器

令和6年3月1日(金)～3月7日(木)



火災予防運動は、市民町民の皆さまに防火防災に関する意識や防災行動力を高めていただくことにより、火災の発生を防ぎ、万一発生した場合にも被害を最小限にとどめ、火災から尊い命と貴重な財産を守ることを目的としています。

現存12天守の宇和島城を守れ！！

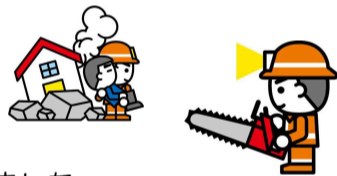


法隆寺金堂が焼損した日である1月26日を「文化財防火デー」と定めて、昭和30年から、文化財防火運動を全国で展開しています。

これにあわせ、令和6年1月30日(火)に、現存12天守の1つである宇和島城において、通報・消火・避難の一連の流れを宇和島市シルバー人材センターの職員及び宇和島消防署員が連携して訓練を実施しました。

火の取扱いには十分注意し、貴重な文化財を未来に残しましょう。

解体予定建物でブリーチング訓練を実施しました。



宇和島消防署では、令和6年1月10日・11日の2日間解体予定の宇和島市旧環境センターをご提供いただき訓練を行いました。大規模災害等を想定としたブリーチング訓練を実施し、一連の活動の流れを再確認することができ、有意義な訓練となりました。今後も同様な訓練を継続して行い、救助技術の向上に努め、市民、町民の安心・安全に努めてまいります。



「ブリーチング」とは

震災現場などで、倒壊した建物内に生き埋めになった人を捜索し、発見した場合に、建物の鉄筋コンクリートの壁や床に、エンジンカッター、削岩機等を使用して開口部を作成し、建物内から救助する手法です。

住宅用火災警報器の普及へ向けて

宇和島地区広域事務組合消防本部と四国ガス株式会社が令和6年2月28日(水)に「住宅用火災警報器の普及促進及び維持管理の啓発に関する協定」の締結が宇和島消防本部で行われます。

この協定は、宇和島地区広域事務組合消防本部と四国ガス株式会社が住宅用火災警報器の啓発に関する協定を結ぶことで、安全で安心なまちづくりをさらに進めていくものです。

住宅用火災警報器は、火災により発生する煙を感知し、音や音声により警報を発して火災の発生を知らせてくれる機器です。宇和島消防管内では、令和5年6月1日現在の設置率(※標本調査結果)は66%です。愛媛県全体では、81%であり、県内ワースト2位の結果となっております。

火災による死因の過半数は逃げ遅れです。自分自身や家族の命を守るために、住宅用火災警報器を設置しましょう。

そろそろ交換せんてまんの？

交換の目安は10年です！

日頃の点検も大事です！

交換の方法

本体のボタンを押すか、付属の紐をひきまわす。交換の際は、必ず電源を切る。

交換方法

反応しない場合はすぐに交換しましょう！

四国ガス × 宇和島地区広域事務組合消防本部

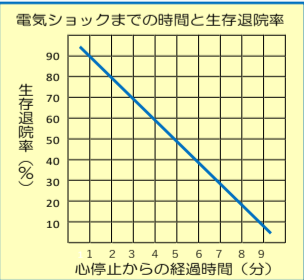
宇和島消防本部AEDステーション登録制度 開始に伴うご登録のお願い

AEDステーション登録制度とは

AEDが設置されている事業所等を「AEDステーション」として認定させていただき近隣で、住民が心臓や呼吸が停止する「心肺停止状態」となった時、AEDを使用させていただくことで、1人でも多くの住民の命を守ることを推進していく制度です。

宇和島消防本部からのおねがい

AEDによる電気ショックが必要な場合、電気ショックが1分遅れると生存退院率が7～10%低下すると言われてます。宇和島消防の救急車が現場に到着する時間は平均10.6分、救える命を救うためには皆様のご協力が不可欠です。1人でも多くの命を救うため、ご協力をお願いいたします。



登録の要件

- AEDを設置するとともに、AEDを適正に維持管理していること。
- 営業時間又は公開時間中において、当該事業所等の近隣でAEDによる救命処置が必要となったときに、AEDを無償で提供し、救命活動に協力する意思を有すること。
- 登録しようとする事業所等の名称及び所在地等を公表することを承諾できること。

【お問い合わせ先】

宇和島地区広域事務組合消防本部 警防課
電話 0895-20-0119
Email u.fire.keibu1@uwajimakouiki.jp
お気軽にお問い合わせください。



第13回宇和島地区幼年消防大会 開催決定！！



日時：令和6年7月4日(木) 9:00～12:00
場所：南予文化会館 大ホール

宇和島地区では、幼年消防クラブ員相互の連帯協調と幼年期における「火遊びはぜったいしません！」の防火安全教育を養うことを目的として3年に1度、幼年消防大会を開催しています。当日は各幼年消防クラブ員が演技を披露します。

スマートフォン等「衝突事故検出機能」について

知らずに緊急通報！？

事故ではなく別の衝撃などでも119番に自動発信される場合があります。宇和島地区管内でも、応答のない119番通報が増加しています。

【事例】

- 車の運転中、端末を落下させてしまい、端末が衝撃を検知した。
- Apple watchを身に付け歩行中に転倒、衝撃を検知した。
- スキーやスノーボード中に転倒し、端末が衝撃を検知した。

など、この「衝突事故検出機能」は交通事故等以外でも端末が激しい衝撃を受けた場合に作動することがあります。



救急車などが不必要のに119番が発信された場合、電話を切らずに「間違えた」とお伝えください。また、消防から折り返し電話をすることがありますので、必ず電話に出て救急車や消防車が必要かどうかをお伝えください。